

別	表
---	---

別表 1 機関誌・図書の刊行

(1) 冊子版「航空と文化」No.127号、128号目次

127号 (夏季号)	
・風使い達の競演 ～熱気球大会の魅力～	特定非営利活動法人 熱気球運営機構会長 町田 耕造
・忘れられていたテリエBM飛行艇	日本航空協会 航空遺産継承基金事務局 荻田 重賀
・2023青少年航空宇宙絵画国際コンテスト (2023FAIヤングアーティスト・コンテスト国内予選)	日本航空協会
・新たな重要航空遺産の認定について 四式戦闘機「疾風」と三式戦闘機「飛燕」	日本航空協会 航空遺産継承基金事務局
一般財団法人日本航空協会 令和4年度事業報告および令和5年度事業計画	日本航空協会
ホームページリニューアルのお知らせ	日本航空協会 総務室

(敬称略)

128号 (新春号)	
・新年のご挨拶	日本航空協会 会長 篠辺 修
・インバウンドの地方誘客に有効な情報発信～台湾市場へのアプローチを例に	LION TRAVEL JAPAN株式会社社長 李 春霖
・打上げビジネスの世界 アリانسスペースの歩み	アリانسスペース社 東京事務所代表 高松 聖司
・次世代の飛行機屋へ、片目のパイロットからのラブレター	アースラウンダー/片目の飛行教官 前田 伸二
・1910年の代々木での初飛行をめぐる考察	日本航空協会 航空遺産継承基金事務局 荻田 重賀
・令和5年度「空の日」航空関係者表彰式	日本航空協会

(敬称略)

(2) WEB版「航空と文化」

タイトル	著者	冊子版掲載号	掲載日
グライダーの最新事情	佐志田 伸夫	122号	5月10日
忘れられていた テリエBM飛行艇	田 重賀	127号	9月19日

別表 2

航空スポーツ団体の活動状況

2023年12月31日現在

2023年航空スポーツ団体別活動状況

実施種目	一般社団法人 日本気球連盟 (NKR)	エクスパリエントナル 航空機連盟 (EXAL)	公益社団法人 日本航空機操縦士協会 (JAPA)	公益社団法人 日本滑空協会 (JSA)	日本模範航空連盟 (JMA)	公益社団法人 パラグライダー連盟 (JHF)	NP0法人 日本マイクライト 航空連盟 (JML)	NP0法人 日本PMIA協会 (JPMIA)	★スカイダイビング 2008年以前国内登録団体なし
熱気球 ガス気球	自作航空機 ・固定翼機 ・ヘリコプター ・ジャイロブレイン ・人力航空機 ・スポーツ航空機 (JSA)	飛行機 (シ・タコワ) (エアコ) ヘリコプター (ロータークラフト) 曲技飛行 (エアバステイツックス)	滑空機 (グライダー) 動力滑空機 (モーターグライダー)	模型航空機 ・ゴム動力機 ・エンジン機 ・電動機 ・グライダー ・ヘリコプター他 ・模型ロケット ・マルチローター (ドローン)	・ハンダグライダー ・パラグライダー (補助動力付を含む)	マイクライト (超軽量動力機) ・軽面操縦型 ・体重移動操縦型 ・パラシュート型	・パラモーター (RPF1, RPF2) ・ワードハンド グライダー (RWF1, RWF2)	・スカイダイビング ・アキユラシエ ・フォーメーション スカイダイビング ・フリースタイル ・フリーフライング	
会員数	1,446人	約100人	405人	592人	5,540人	5,990人	397人	731人	-
受審者 全体数	約7,000人	不明	約5,000人	2,925人	不明	5,990人	570人	約4,000~5,000人	-
機 体 数	401機	200機	不明	約332機	約6万機	1,861機	470機	不明	-
備考 (トピックス)	・会員総会(東京)・理事会年4回開催(1、4、7、10月) ・法整備対応 ・機関誌発行 ・連盟50周年事業 HPリニューアル ・記念品、動画、歴代熱気球パイロット制作、50周年記念講演 ・FAI/CIA WTC(3月スイス) ・Pu/1講習会・指導者講習会、イグザミナー連絡会開催 ・第6回熱気球ジュニア世界選手権(8月ポーランド) ・鳥人間大会(7月滋賀県彦根市)では滑空機17機、人力機13機の参加があった。	・鳥人間大会以外の飛行機等の製作活動は低調。 ・JACBから打診された鳥人から併せて対応中。(韓国-九州→台湾方面へのLSAでの国際間飛行計画) ・LSAのLSA通達が発行された状況は、まだ不明。 ・来年年度に取組む種目自作機に際し、LSAを含め様々な部門に対応可能な体制作りをおこなう。	飛行機 正式なFAI競技の実施は難しいため、簡易な着陸競技やラリーなどの開催を模索している。 ヘリコプター エアバステイツックス ・エアバステイツックスはグループで活動している。 ・曲技飛行者のWS(登録者32名)を再構築し、情報交換や活性化を図った。 ・第13回MAGC(滑空機ADV) (7月ポーランド)で33/24位。 ・第15回WACC(飛行機ADV) (10月米州)で35、36/56位。 ・FAI CIA WTC(11月ポーランド)実参加目標のため、向かい風を想定し、グライダー・エアバステイツックスが、曲技飛行者団体「日本曲	飛行時間・回数が増加し、コロナの影響から回復し2019年以前のレベルに戻った。 注：上記数値は2022年度の滑空累計データ。会員数は2023年12月末現在。	1. 国内選手権 2. 海外選手権 3. 日本記録更新 4. その他 5. 航空機操縦士協会 6. 航空機操縦士協会 7. 航空機操縦士協会 8. 航空機操縦士協会 9. 航空機操縦士協会 10. 航空機操縦士協会 11. 航空機操縦士協会 12. 航空機操縦士協会 13. 航空機操縦士協会 14. 航空機操縦士協会 15. 航空機操縦士協会 16. 航空機操縦士協会 17. 航空機操縦士協会 18. 航空機操縦士協会 19. 航空機操縦士協会 20. 航空機操縦士協会 21. 航空機操縦士協会 22. 航空機操縦士協会 23. 航空機操縦士協会 24. 航空機操縦士協会 25. 航空機操縦士協会 26. 航空機操縦士協会 27. 航空機操縦士協会 28. 航空機操縦士協会 29. 航空機操縦士協会 30. 航空機操縦士協会 31. 航空機操縦士協会 32. 航空機操縦士協会 33. 航空機操縦士協会 34. 航空機操縦士協会 35. 航空機操縦士協会 36. 航空機操縦士協会 37. 航空機操縦士協会 38. 航空機操縦士協会 39. 航空機操縦士協会 40. 航空機操縦士協会 41. 航空機操縦士協会 42. 航空機操縦士協会 43. 航空機操縦士協会 44. 航空機操縦士協会 45. 航空機操縦士協会 46. 航空機操縦士協会 47. 航空機操縦士協会 48. 航空機操縦士協会 49. 航空機操縦士協会 50. 航空機操縦士協会 51. 航空機操縦士協会 52. 航空機操縦士協会 53. 航空機操縦士協会 54. 航空機操縦士協会 55. 航空機操縦士協会 56. 航空機操縦士協会 57. 航空機操縦士協会 58. 航空機操縦士協会 59. 航空機操縦士協会 60. 航空機操縦士協会 61. 航空機操縦士協会 62. 航空機操縦士協会 63. 航空機操縦士協会 64. 航空機操縦士協会 65. 航空機操縦士協会 66. 航空機操縦士協会 67. 航空機操縦士協会 68. 航空機操縦士協会 69. 航空機操縦士協会 70. 航空機操縦士協会 71. 航空機操縦士協会 72. 航空機操縦士協会 73. 航空機操縦士協会 74. 航空機操縦士協会 75. 航空機操縦士協会 76. 航空機操縦士協会 77. 航空機操縦士協会 78. 航空機操縦士協会 79. 航空機操縦士協会 80. 航空機操縦士協会 81. 航空機操縦士協会 82. 航空機操縦士協会 83. 航空機操縦士協会 84. 航空機操縦士協会 85. 航空機操縦士協会 86. 航空機操縦士協会 87. 航空機操縦士協会 88. 航空機操縦士協会 89. 航空機操縦士協会 90. 航空機操縦士協会 91. 航空機操縦士協会 92. 航空機操縦士協会 93. 航空機操縦士協会 94. 航空機操縦士協会 95. 航空機操縦士協会 96. 航空機操縦士協会 97. 航空機操縦士協会 98. 航空機操縦士協会 99. 航空機操縦士協会 100. 航空機操縦士協会	国土交通省への登録機数 ・花田機 255機 ・鳥居機 175機 ※推定数	1. 選手権や高齢化により、離着陸の困難・飛行中のトラブルの発生などが発生しているが、許可申請代行業務を円滑に進め、受託業務の減少率を抑制に抑えている。 (参考：JL受託申請数→離着陸機1機増、登録機体2機減2機増) 2. 会員の動向は、目標達成に向けた「会員同好会」による活動、さらにもともと会員同好会との連携共有化やスクールクラブのリスト化を図り、次世代育成に向けた連泊Pを引き継ぎ工夫改善を継続する。 3. 一昨年の多発事故の反省から今年は無事故であり、至前の安全講習会による安全意識の向上に努め、FAI CIA WTC(11月ポーランド)実参加目標のため、向かい風を想定し、グライダー・エアバステイツックスが、曲技飛行者団体「日本曲		

日本航空協会認定団体の活動状況 (★：現在認定団体なし)

別表3 競技会の実績

(1) 日本で開催したFAI国際競技会 (FAI Category I、II ※日本選手権を除く)

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. ハング・パラグライダー 2023スカイフェスティバルIN南陽	田中 元気	2023. 07. 14 ～17	山形県南陽市 十分一エリア	47名 (内女性 5名)
2023 Class V 2023 East Japan Championship	古坂 学俊	2023. 09. 16 ～18	茨城県石岡市 足尾エリア	13名 (内女性 0名)
2023 East Japan Championship	総合 砂間 隆司 女子 櫻井 さやか	2023. 10. 07 ～09	茨城県石岡市 足尾エリア	45名 (内女性 7名)
スカイグランプリ2023 in 吉野川	総合 多賀 純一 女子 吉川 朋子	2023. 11. 03 ～05	徳島県三好郡 東みよし町	83名 (内女性 12名)
ハンググライダー 紀の川スカイグランプリ2023	総合 氏家 良彦 女子 佐野 容子	2023. 11. 23 ～26	和歌山県紀の川市 紀の川フライトパーク	50名 (内女性 6名)
Fledge七曲 ハンググライダー競技会	箕谷 将明	2023. 11. 04 ～05	静岡県島田市 七曲エリア	29名 (内女性 3名)
西富士ジャパクラシック2024	総合 鈴木 博司 女子 野尻 知里	2024. 01. 06 ～08	静岡県富士宮市	36名
2024板敷山スプリングフライト	総合 砂間 隆司 女子 野尻 知里	2024. 03. 20 ～24	茨城県石岡市	51名 (内女性6 名)

(2) 公認した日本選手権

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球 第39回熱気球日本選手権	上田 諭	2023. 10. 31 ～11. 06	佐賀県佐賀市	40機
2. 模型航空機 F1A フリーフライト・グライダー F1B フリーフライト・ゴム動力機 F1C フリーフライト・エンジン機	和田 光信 熊井 恒雄 関澤 一雅	2023. 11. 03 ～05 2023. 11. 05 2023. 11. 04 2023. 11. 05	千葉県旭市	7名 14名 6名
F1D フリーフライト・室内機	木原 一正	2023. 07. 22 ～23	長野県松本市 やまびこドーム	9名
F2B コントロールライン・曲技	能米 昭一郎	2023. 09. 08 ～10	岐阜県高山市 飛騨エアパーク	56名

F3A	ラジオコントロール・曲技	音田 哲男	2022.09.20 ～24	福島県須賀川市 浜尾地内 スポーツ公園	40名
F3B	ラジオコントロール・ グライダー	川村 周司	2023.05.19 ～21	埼玉県児玉郡上里町 上里グライダークラブ 飛行場	27名
F3C	ラジオコントロール・ ヘリコプター	伊藤 寛規	2023.10.05 ～08	千葉県木更津市 木更津ユースポート	37名
F3J	ラジオコントロール・ サーマルグライダー	天田 政浩	2023.09.15 ～17	埼玉県児玉郡 上里グライダークラブ 飛行場	18名
F3K	ラジオコントロール・ 手投げグライダー	西村 悠	2023.10.27 ～29	千葉県野田市 野田スポーツ公園	16名
F5B	ラジオコントロール・ 電動グライダー	計測機械故障の ため2024年4月以 降に開催延期	2023.11.03 ～05	千葉県野田市 野田スポーツ公園	—
F5J	ラジオコントロール・ 電動手曳航グライダー	櫻井 尚人	2023.10.07 ～08	埼玉県 上里町	42名
3.	ハング・パラグライダー ハンググライダー・クラスV 日本選手権2023 in 足尾 (FAI CAT II)	総合 板垣 直樹	2023.03.30 ～04.02	茨城県石岡市 足尾山エリア	15名 (内女性0名)
	2023パラグライダー・ アキュラシー日本選手権 in ASAGIRI (FAI CAT II)	総合 岡 芳樹 女子 伊藤まり子	2023.12.02 ～03	静岡県富士宮市 朝霧高原	40名 (内女性8名)
4.	マイクロライト 2023年度JPMAパラモーター 日本選手権/FLY & FUN in 栗原	五十嵐 亮弥	2023.09.30 ～10.01	茨城県常陸太田市 栗原町 久慈川河川敷	12名

(3) 後援した競技会等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球 2023熱気球ホンダ・グランプリ	総合1位 藤田 雄大			
第1戦 佐久バルーン フェスティバル2023	山下 太一郎	2023.05.03 ～05	長野県佐久市 千曲川スポーツ交流広場	35機
第2戦 一関・平泉バルーン フェスティバル2023	藤田 雄大	2023.10.13 ～15	岩手県一関市 一関水辺プラザ	30機
第3戦 2023佐賀インターナショナル バルーンフェスタ	上田 諭	2023.11.01 ～05	佐賀県佐賀市 嘉瀬川河川敷	100機
第4戦 栃木市・渡良瀬バルーンレース2023	藤田 雄大	2023.12.01 ～03	栃木県栃木市 藤岡渡良瀬運動公園	30機

第50回北海道バルーンフェスティバル	チーム Okami 岩井 重文 (東京都)	2023. 08. 10 ～13	北海道上士幌町 航空公園及び周辺	63機 886名 観客4.6万人
第48回 おぢや風船一揆	競技中止	2024. 02. 24 ～25	新潟県小千谷市	—
2. 滑空機 (グライダー) 第26回 東京六大学対抗 グライダー競技会	個人 藤芳 一大 (早稲田大学) 団体 慶應義塾大学	2023. 08. 27 ～09. 02	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	6校 19名
第54回全日本高等学校滑空選手権大会	個人 堀越 雄太 (慶應義塾高等学校) 団体 慶應義塾高等学校	2023. 07. 28 ～30	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	18名
第63回全国七大学総合体育大会 航空の部	個人 堤宇叶 (東京大学) 団体 東京大学	2024. 02. 21 ～29	千葉県野田市 NPO法人関宿滑空場	7校 66名
第64回全日本学生グライダー競技大会	個人 横尾 心温 (慶應義塾大学) 団体 慶應義塾大学	2024. 03. 04 ～09	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	11校 32名

(4) 選手を派遣した世界選手権、アジア選手権 等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加国	日本人 成績
1. 熱気球 第6回FAI熱気球ジュニア世界選手権	DZIEDZIAK, Jakub (ポーランド)	2023. 08. 21 ～27	Grudziadz (ポーランド・ グルジヨンツ)	17カ国 45機	17・21・ 22・24 35位
第5回FAI熱気球女性世界選手権	SCAIFER, Nicola (オーストラリア)	2023. 09. 04 ～09	Northam (オーストラリア)	13カ国 30機	13・18・ 20・30位
2. アεροバティック 13th FAI World Advanced Glider Aerobatic Championship	Thibaut FROMANTIN (フランス)	2023. 07. 26 ～08. 06	トルン飛行場 (ポーランド)	10か国 34名	33位
15th FAI World Advanced Aerobatic Championships	個人 Tommy DOUILLARD (フランス) 団体 フランス	2023. 10. 24 ～11. 04	ジーン飛行場 (アメリカ)	16か国 56名	35・36 位
3. 滑空機 (グライダー) 第37回グライダー世界選手権大会	スタンダードクラス Tom Arscott (イギリス) 15mクラス Sebastian Kawa (ポーランド) クラブクラス James Nugent (オーストラリア)	2023. 12. 02 ～16	Narromine オーストラリア	21か国 78チーム	8位
第21回グライダーヨーロッパ選手権 大会	18mクラス Lukasz Wojcikjcik (ポーランド) 20mクラス Kettunen& Sorri(フィンランド) オープンクラス Markus Frank (ドイツ)	2023. 07. 29 ～08. 12	Leszno ポーランド	21か国 74チーム	31位

4. 模型航空機 2023FAI F1A World Championship	個人 MALILA Lauri (スイス) 団体 スウェーデン	2023. 08. 12 ～19	Moncontour- du-Poitou (フランス)	38ヶ国 114名	個人94位 団体38位
2023FAI F1B World Championship	個人 GRUBIC Bozo (セルビア) 団体 チェコ	2023. 08. 12 ～19	Moncontour- du-Poitou (フランス)	38ヶ国 109名	個人14・ 64・93位 団体21位
2023FAI F1C World Championship	個人 JERMOL Darijo (クロアチア) 団体 ウクライナ	2023. 08. 12 ～19	Moncontour- du-Poitou (フランス)	25ヶ国 70名	個人7・ 68・69位 団体19位
2023FAI F1E World Championship	個人 Konrad ZUROWSKI (ポーランド) 団体 ポーランド	2023. 08. 01 ～04	Turda ルーマニア	13ヶ国 37名	個人19位 団体13位
2023FAI F3A World Championship	個人 Lassi Nurila (フィンランド) 団体 アメリカ	2023. 08. 19 ～26	Warwick, Queensland オーストラリア	19ヶ国 59名	個人6・ 11・13位 団体3位
2023FAI F3B World Championship	個人 Bernhard Flixeder (オーストリア) 団体 ドイツ	2023. 07. 12 ～30	Rodekro デンマーク	13ヶ国 40名	個人31・ 39位 団体12位
2023FAI F3C/N World Championship (日本はF3Cのみ参加)	個人 伊藤 寛規 (日本) 団体 日本	2023. 08. 04 ～10	Muncie, Indiana (アメリカ)	11ヶ国 19名	個人3・5・ 6・17位 団体1位
2023FAI F3C/N World Championship (F3C Junior)	個人 ZHAO Xinze (中国)	2023. 08. 04 ～10	Muncie, Indiana (アメリカ)	2ヶ国 2名	個人2位
2023FAI F3D/E World Championship	F3D Emil Broberg (スウェーデン) 団体 アメリカ F3E Jan Sedlacek (チェコスロバキア) 団体 オランダ	2023. 07. 29 ～08. 05	Drachten (オランダ)	F3D 13ヶ国 33名  F3E 8ヶ国 20名	F3D 個人23・ 28・31位 団体8位 F3E 日本不参加
2023FAI F3K World Championship	個人 Anthony ROTTELEUR (フランス) 団体 ドイツ	2023. 08. 26 ～09. 01	Sanpetru, Brasov (ルーマニア)	22ヶ国 61名	個人34位 団体21位
2023FAI F3P World Championship	個人 Gernot Bruckmann (オーストリア) 団体 フランス	2023. 03. 19 ～25	Jonava (リトアニア)	13カ国 32名	個人31位 団体13位
2023FAI F5J World Championship	個人 GALLET Adrien (フランス) 団体 ニュージーランド	2023. 08. 13 ～08. 19	Dupnitsa (ブルガリア)	30カ国 88名	個人50・ 57・78位 団体19位
2023FAI F9U World Championship	個人 KIM MinChan (韓国) 団体 韓国	2023. 10. 06 ～09	Namwon, (韓国)	28カ国 114名	個人2・ 11・29・ 38・83位 団体3位
2023FAI F9U World Championship (Women)	個人 WANNAPONG Wanraya (タイ) 団体 韓国	2023. 10. 06 ～09	Namwon, (韓国)	12カ国 12名	個人6位 団体3位
2023FAI F9U World Championship (Junior)	個人 KIM MinJae (韓国)	2023. 10. 06 ～9	Namwon, (韓国)	25カ国 40名	個人4・ 5・17位

2023FAI S World Championship	S4Aクラス SUN Hongxiang (中国) 団体 中国 S6Aクラス VINYARD Keith(アメリカ) 団体 アメリカ S9Aクラス PETROVIC Mihailo (セルビア) 団体 ポーランド	2023. 07. 01 ～07	Austin, Texas アメリカ	S4A 16カ国 44名 S6A 17カ国 44名 S9A 17カ国 49名	S4A 個人37位 団体14位 S6A 個人28位 団体14位 S9A 個人39位 団体15位
5. ハング・パラグライディング 第9回 FAIハンググライディング クラス5世界選手権	Anton RAUMAUF (オーストリア)	2023. 08. 06 ～19	Krusevo (北マケドニア)	7カ国 27名	6, 10, 14 18, 23位 チーム3位
第14回 FAIハンググライディング 女子世界選手権	Sasha SEREBRENNIKOVA (オーストリア)	2023. 08. 06 ～19	Krusevo (北マケドニア)	6カ国 7名	3位
第23回 FAIハンググライディング 世界選手権	Alex PLONER (イタリア)	2023. 08. 06 ～19	Krusevo (北マケドニア)	22カ国 104名 (内女子7名)	42, 49, 52 54, 67, 70, 80位 女子5位 チーム11位
第12回 FAIパラグライディング アキュラシー世界選手権	個人 Yang CHEN (中国) 女子 Eunyoung CHO (韓国) ジュニア (U26) Linus SCHUBERT(ドイツ)	2023. 10. 20 ～28	Sopot ブルガリア	31カ国 129名	個人 72, 74, 107 , 115位 女子9位 チーム 21位
第18回 FAIパラグライディング 世界選手権	Maxime PINOT (フランス)	2023. 05. 20 ～06. 03	Chamoux-Sur- Gelon (フランス)	49カ国 149名	48, 62, 79 88, 148位 女子5位 チーム14 位

#### 別表4 記録の公認等

##### (1) 記録の公認

1) FAI国際記録 (FAIより認定された記録) 該当なし

2) 日本記録 (当協会が認定した記録)

種 目	氏 名	記 録	飛行年月日・飛行場所・認定日
滑空機 三旋転距離距離 (D0 級/女性)	櫻井 玲子	783.2km	2023. 12. 25 ヴェロニカ飛行場 (ナミビア) 2024. 2. 6
模型航空機 (F3D) ラジオコントロールパイロンレーシ ング周回コース速度 (10 周)	佐藤 義則	57.79秒	2023. 8. 4 Drachten (オランダ) 2023. 9. 1



(2) FAIスポーツ・ライセンス (2023年1月1日～12月31日)

種 目	F A I スポーツ・ライセンス発行			有効登録者数 (12月31日現在)
	新規発行	更 新	合 計	
熱 気 球	7	17	24	81
人 力 飛 行 機	0	0	0	0
滑 空 機	0	12	12	48
模 型 航 空 機	14	23	37	107
パラシューティング	0	1	1	5
ハング・パラグライダー	17	70	87	278
超軽量動力機 パラモーター	0	1	1	4
飛 行 機	2	0	2	4
その他 (Rotor craft)	0	0	0	0
合 計	40	124	164	527

(3) 資格証の発行数 (2023年1月1日～12月31日)

1) 滑空機

種 目	種 目	件 数
1. 国際滑空記章  ※ ( ) 内は、内数 平成22年4月1日より、認定証書のみ発行し、バッジは申請者の選択性とした。	銀 章 (※認定証のみ)	7 (2)
	金 章 (※認定証のみ)	0 (0)
	ダイヤモンド距離章	0
	ダイヤモンド高度章	1
	ダイヤモンド目的地章	0
	3ダイヤモンド章	0
	750km章 (※認定証のみ)	0 (0)
	1,000km以上章	0
	2. 飛行成績証明書  ※記章発行 (単一科目達成時及び複数科目の最終項目達成時) を除く。	滞 空 5時間 (5H)
距 離 50km (5K)		7
高 度 1,000m (1M)		11
距 離 300km (3K)		0
高 度 3,000m (3M)		6
目的地 300km (3D)		0
高 度 5,000m (5M)		1
距 離 500km (5D)		0
距 離 750km (7D)		0
距 離 1,000km (10D)		0
距 離 1,500km (15D)	0	

2) 模型航空機

種 目	種 目	件 数
1. 技能証  ラジオコントロールヘリコプター	A 級	0
	B 級	1
	C 級	2
	D 級	1
	E 級	0
コントロールライン曲技	A 級	6
	B 級	6
	C 級	6
	D 級	3

3) パラシューティング

種 目	種 目	件 数
1. 落下傘降下士技能証	A 技能証	0
	B 技能証	0
	C 技能証 (銀)	0
	D 技能証 (金)	0
2. 国際パラシューティング技能証	A 技能証	0
	B 技能証	0
	C 技能証	0
	D 技能証	0

別表5 主催・後援事業

(1) 主催事業

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
航空スポーツ教室 スカイ・キッズ・プログラム	2023.08.19 ～20	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	1,108名
	2023.10.14	岐阜県飛騨市 飛騨市立古川中学校	27名
	2024.03.30	東京都港区 札の辻スクエア (三田図書館)	63名
こども模型飛行機教室 (全国10箇所、参加者数348名) *参加者数は子供のみ	2023.08.04	奈良県奈良市 平城球跡資料館	22名
	2023.08.19 ～20	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	119名

	2023. 10. 14	岐阜県飛騨市 飛騨市立古川中学校	27名
	2023. 10. 17	高知県高知市 高知市立第六小学校	26名
	2023. 12. 02	奈良県磯城郡田原本町 田原本町中央体育館	18名
	2023. 12. 21	愛知県豊明市 名古屋朝鮮初級学校	51名
	2024. 03. 09	東京都目黒区 目黒区立中目黒小学校	16名
	2024. 03. 30	東京都港区 札の辻スクエア（三田図書館）	35名
	2024. 03. 31	高知県高知市 高知ラジコンクラブ飛行場	7名
	2024. 03. 31	福岡県若宮市 鞍手町立室木小学校	27名

(2) 共催事業：主催実行委員会構成団体の一員として参画

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
東日本大震災支援熱気球イベント 第33回「空を見上げて」IN東京	2023. 08. 19 ～20	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	気球搭乗774名 模型教室119名 ハクVR 55名 機体展示160名
第28回スカイスポーツ シンポジウム	2023. 12. 02	東京都立産業技術高等学校	55名

(3) 後援事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
第48回二宮忠八翁飛行大会	2023. 04. 29	愛媛県八幡浜市 八幡浜市民スポーツパーク	210名
第45回 鳥人間コンテスト 選手権大会2023	2023. 07. 29 ～30	滋賀県彦根市 松原水泳場周辺	滑空機12機 人力プロペラ16機
2023北海道スカイスポーツ フェアイン 余市	2023. 09. 10	余市農道離着陸場	2,500名

(4) 協力事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
野田空まつり2023	2023. 11. 26	千葉県野田市	来場者 約800名

エアロスポートジュニア アカデミー18期	2023. 6. 11～ 2024. 3. 2	千葉県野田市 野田公民館、NPO関宿滑空場	13名
-------------------------	----------------------------	--------------------------	-----

別表6 表彰事業（協会賞・FAI賞）詳細

1. 令和5年度 日本航空協会賞 受賞者一覧

(1) 航空亀齡賞

<長年にわたり航空の発展に尽力され、且つ数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞>

いしかわ とおる <b>石川 達 氏</b> (89歳)	航空エンジンの国産化率の向上に尽力し、その技術開発力の強化および高度化を推進し、わが国民間航空機産業の振興に多大な貢献をされました。 〔元株式会社IHI専務取締役 推薦：(一社)日本航空宇宙工業会〕
さとう いちろう <b>佐藤 一郎 氏</b> (89歳)	長年にわたり学生航空連盟の教官として後進の指導と安全管理、滑空機設計・製作そしてその耐空検査、関宿滑空場の運営において多大な貢献をされました。 〔元特定非営利活動法人関宿滑空場会長 推薦：(公社)日本滑空協会〕
のむらきちさぶろう <b>野村吉三郎 氏</b> (89歳)	わが国の航空宇宙界において、全日本空輸の経営者、定期航空協会と日本航空協会それぞれの会長として、わが国経済界において経済同友会の役員、企業の社外監査役として、多大な貢献をされました。 〔元全日本空輸株式会社代表取締役会長 推薦：全日本空輸(株)〕

(2) 航空文化賞

<航空に関する功績が顕著で、航空界が挙がって表敬を惜しまない者に贈る賞。本賞は、当協会が贈る諸賞のうち、最高位に位置する賞>

本年度は該当者なし

(3) 航空功績賞

<航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈る賞>

たけむら しげゆき <b>竹村 滋幸 氏</b> (73歳)	わが国でのLCCの発展、全日本空輸とANAホールディングスの経営、そして航空事業を通じた地域活性化において、わが国の航空宇宙界の発展に著しい貢献をされました。 〔元ANAホールディングス株式会社取締役副社長執行役員 推薦：全日本空輸(株)〕
はぎお ひろやす <b>萩尾 裕康 氏</b> (81歳)	日本航空で安全運航を中心に据えた見地で経営に参画する取締役運航本部長として、日本航空機操縦士協会会長、日本航空協会副会長として、わが国の航空宇宙界の発展に著しい貢献をされました。 〔元日本航空株式会社常務取締役 推薦：日本航空(株)〕
やました ともぶ <b>山下 友信 氏</b> (70歳)	航空運送法に関する立法の発展、航空運送法に関する理論の発展、保険と航空法に関する理論の発展において、わが国航空宇宙界の発展に著しい貢献をされました。 〔東京大学名誉教授 推薦：日本空法学会〕

(4) 航空特別賞

＜航空の発展、思想の普及啓蒙に顕著な功績があった者またはグループに贈る賞＞  
該当者なし

(5) 空の夢賞

＜航空宇宙に対する夢や希望を与え、または明るい話題を提供するなどユニークな貢献をしたとして日本航空協会表彰に値する者またはグループに、航空宇宙諸般の進歩発展に寄与するチャレンジを応援する意味合いを含めて贈る賞＞

ispace	民間宇宙スタートアップ企業として月面着陸のミッションに挑戦し、自ら開発したランダーを月周回軌道に投入することに成功し、航空宇宙に対する夢や希望を広く社会に与えました。功績をたたえ、続く月面探査ミッションの成功を祈念して表彰いたします。 〔推薦：表彰委員会事務局〕
NHK連続テレビ小説 「舞いあがれ！」制作チーム	航空宇宙に対する夢や希望を広く社会に与える作品を制作し、テレビドラマの媒体で放映し、航空宇宙諸般の進歩発展にユニークな貢献をされました。 〔推薦：表彰委員会事務局〕
JAXA航空技術部門航空安全イノベーションハブ気象影響防御技術チーム	晴天乱気流を検知し、風速分布を詳細に推定する航空機搭載型ドップラーライダーの開発に成功されました。功績をたたえ、航空機を予見自動制御する機体動揺低減技術の開発の成功を祈念して表彰いたします。 〔推薦：表彰委員会事務局〕

(6) 航空スポーツ賞

＜航空スポーツのFAI世界記録を樹立し、又は同世界選手権者となった個人又はグループに贈る賞＞  
※年齢は受賞時年齢

いとう ひろき 伊藤 寛規 氏 (35歳)	2023年8月アメリカで開催された模型航空機ラジオコントロールヘリコプター (F3C) 世界選手権で個人優勝
模型航空世界選手権 F3C日本代表チーム	2023年8月アメリカで開催された模型航空機ラジオコントロールヘリコプター (F3C) 世界選手権で団体優勝 団長兼選手：澤村 寧一 選手：磯 匡敏、鬼澤 一史、岩田 愛佳

2. 国際航空連盟 (FAI) 賞伝達

(1) ポール ティサンディエ ディプロマ (The Paul Tissandier Diploma)

＜FAIの事務局長を務めたポール・ティサンディエ氏に因んで制定された賞で、航空一般、特に航空スポーツ発展のために献身的努力を傾注し、団体組織等で指導的役割を果たし、その業績が顕著である個人に授与される賞＞

ひろた かずひろ 廣田 和弘 氏 (55歳)	1999年から一般社団法人日本気球連盟の安全委員会委員および理事の要職を務められました。特に安全委員会委員長としてパイロットやインストラクター制度などを国際基準と同等以上とする改定や、イグザミナー会議および指導者講習会を開催して安全対策活動を主導するなど、わが国における気球飛行の普及振興に貢献されました。また、長年にわたりインストラクターおよびイグザミナーとして後進育成にも努められました。 推薦：(一社) 日本気球連盟
------------------------------	--

<p>すずき こういち <b>鈴木 康一 氏</b> (79歳)</p>	<p>1996年から東京理科大学体育局航空部 部長および公益社団法人日本滑空協会理事の要職を務められました。特に指定航空従事者養成施設の技能審査員ならびに管理者として体制構築と健全な運営を主導し、これまでに多くの上級滑空機の自家用操縦士を誕生させるなど、わが国における滑空スポーツの普及振興に貢献されました。また、長年にわたり教官および監督として後進育成にも努められました。</p> <p style="text-align: right;">推薦：(公社) 日本滑空協会</p>
<p>ひろせ はるのぶ <b>廣瀬 春信 氏</b> (75歳)</p>	<p>1999年からFAI国際模型航空委員会 日本代表委員および日本模型航空連盟 理事長の要職を務められました。特に長年にわたり国内外の競技会において審査員や陪審員を務められ、また、2015年無人航空機に関する航空法改正においては規制緩和につながる活動を模型航空愛好者を代表して主導するなど、わが国における模型航空スポーツの普及振興に貢献されました。</p> <p style="text-align: right;">推薦：日本模型航空連盟</p>

## (2) CIAMレジェンドメダル (FAI Legend Medal)

<過去にFAI模型航空世界チャンピオンのタイトルを3回以上獲得した個人に授与される賞>

<p>はしもと まなぶ <b>橋本 学 氏</b> (52歳)</p>	<p>2023年8月アメリカで開催された模型航空機ラジオコントロールヘリコプター (F3C) 世界選手権で個人優勝</p>
<p>いとう ひろき <b>伊藤 寛規 氏</b> (35歳)</p>	<p>2023年8月アメリカで開催された模型航空機ラジオコントロールヘリコプター (F3C) 世界選手権で団体優勝 団長兼選手：澤村 寧一 選手：磯 匡敏、鬼澤 一史、岩田 愛佳</p>

## (3) FAI エア・スポーツ・メダル (The FAI Air Sports Medal)

<航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人又は団体に贈る賞>

<p>ないとう くひろ <b>内藤 邦裕 氏</b> (59歳)</p>	<p>1993年より国内で開催された以下の国際競技会等において気象チームのチーフを務め、大会運営ならびに気象チームの人材育成に尽力するなど、熱気球の普及振興に貢献されました。</p> <p>1993年 ハンググライディング女子世界選手権 (山形県南陽市) 1995年 パラグライダー世界選手権 (福岡県北九州市) 2003年 パラグライダーワールドカップ (茨城県) 2005年 茂木熱気球インターナショナルチャンピオンシップ (栃木県茂木町) 2006年 栃木熱気球世界選手権 (栃木県) 2007年 パラグライダーワールドカップ (茨城県) 2007年～2014年 栃木熱気球インターナショナルチャンピオンシップ (栃木県) 2015年 熱気球世界選手権プレ大会 (佐賀県) 2016年 熱気球世界選手権 (佐賀県) 2007年～現在 熱気球ホンダグランプリ</p> <p style="text-align: right;">推薦：(一社) 日本気球連盟</p>
<p>きむら よしひこ <b>木村 義彦 氏</b> (83歳)</p>	<p>1998年より公益社団法人宮城県航空協会 理事や理事長を務められました。特に公益社団法人宮城県航空協会の円滑で健全な財政運営を指導すると共に、記録飛行 (高高度・長距離飛行) の環境整備に尽力し、角田滑空場を日本有数のウェーブ飛行拠点に育てあげるなどわが国における滑空スポーツの普及振興に貢献されました。また、1971年より航空部監督や指導員として後進の育成にも貢献されました。</p> <p style="text-align: right;">推薦：(公社) 日本滑空協会</p>

※ 年齢は受賞時年齢